

心に残る文化財子ども塾 出雲市立今市小学校

1. 活動の概要

5月29日（月）、出雲市立今市小学校で『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。はじめに、島根の歴史文化にふれてもらうため、荒神谷遺跡の銅剣と加茂岩倉遺跡の銅鐸のレプリカを見せながら青銅器の話をしました。

その後、「奈良の大仏の巨大さと、込められた思い」をテーマに、奈良の大仏の実物大パネルを組み立てました。大仏パネルが完成したらみんなで記念撮影を行い、最後に大仏造営当時の様子を、クイズを交えて説明しました。

2. 活動の様子



床一面に散らばったパネルを並べていきます。チームワークが肝心。



完成まであと少し！

3. 活動を終えて

①児童の皆さんから

- ・銅鐸のことなど細かく教わったことが心に残りました。もっと調べてみたい、調べて行きたいと思いました。
- ・奈良の大仏がこんなに大きいことが心に残りました。
- ・島根にもいろんな遺跡があるんだなと思ったし、大仏パネルも楽しかったので、思い出に残るいい日だと思いました。
- ・みんなと協力して大仏パネルを完成することができたこと
- ・奈良の大仏の実物を見に行きたい。

②担任の先生から

- ・大仏パネル組立の説明がたいへん分かり易く、完成までの見通しを持って児童が主体的に取り組めた。

- 平面でも大仏の大きさを体感できた、よい企画だと思った。
- 協力しないと完成しないというのも面白いと思った。
- 実際には体感できない顔の大きさや目・口の大きさなども、自分自身と比べることができるのが平面のよさだと感じた。

③古代出雲歴史博物館から

大仏の大きさを目の当たりにして、驚きの声があちこちで上がりました。体験を通じて、大仏や奈良時代、そして地域の歴史へ興味を持ってもらうことができたのではないかと思います。大仏が完成してから、大仏造立にまつわるお話しをしましたが、今後はお話しの部分で使うパネルやクイズを工夫して、さらに分かりやすく伝える工夫をしていきたいと思っています。